



2026年 5月15日

各 位

会社名 株式会社リニカル
代表者名 代表取締役社長 秦野 和浩
(コード番号：2183 東証スタンダード)
問合せ先 執行役員CFO 高橋 明宏
(TEL. 06-6150-2582)

減損損失の計上（連結・個別）及び関係会社株式評価損の計上（個別）

並びに通期連結業績予想と実績との差異に関するお知らせ

当社は、2026年3月期第4四半期において、減損損失（連結・個別）及び関係会社株式評価損（個別）を計上しました。また、2026年3月18日に公表いたしました2026年3月期通期（2025年4月1日～2026年3月31日）の連結業績予想と本日公表の決算実績に差異が生じたので、お知らせいたします。

記

1. 減損損失の計上（連結決算・個別決算）

当社の日本事業及び欧州事業において、大型案件のキャンセルや開始遅延等により厳しい営業状況が継続するなか、欧州での人員整理や日本における採用抑制等による人件費を中心とした費用削減を進める一方で、営業人材補充とグローバル体制強化を進めているものの、当該各資産グループの営業活動から生ずる損益が継続してマイナスとなっていることから、固定資産、欧州事業ののれんの回収可能性を検討した結果、日本事業において固定資産（建物附属設備等）の減損損失を159百万円、欧州事業においてのれんの減損損失829百万円、総額989百万円を計上することとなりました。

また、個別決算においても、本件について固定資産（建物附属設備等）の減損損失161百万円を計上しております。

2. 関係会社株式評価損の計上について（個別決算）

上記1. に伴い、当社が保有する LINICAL Europe Holding GmbH 株式の実質価額が著しく低下したことから、日本基準における「金融商品に関する会計基準」に基づき、2026年3月期の当社個別決算において関係会社株式評価損1,333百万円を特別損失として計上することとなりました。

なお、当該関係会社株式評価損は当社個別決算のみに計上されるものであり、連結決算においては消去されるため、2026年3月期の通期連結業績への影響はございません。

3. 業績予想と実績との差異について

(1) 2026年3月期通期連結業績予想数値と実績との差異

(2025年4月1日～2026年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	8,663	△2,138	△2,101	△2,377	△105円24銭
実績 (B)	8,665	△2,073	△2,023	△3,329	△147円41銭
増減額 (B-A)	2	64	77	△952	
増減率 (%)	0.0	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2025年3月期)	10,437	△583	△498	△539	△23円87銭

(2) 差異発生 の理由

売上高、営業利益、経常利益が前回予想に対してコスト発生の抑制等により僅かに改善しましたが、親会社株主に帰属する当期純利益については、上記のとおり減損損失を特別損失に計上したこと等により前回予想を下回る結果となりました。

2026年3月期通期連結業績の詳細につきましては、本日公表しました、「2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」をご参照下さい。

以 上